

報告者

竹沢泰子先生

(京都大学人文科学研究所)

報告タイトル

アメリカ合衆国の雑誌広告にみられる ステレオタイプ

—社会カテゴリーのインターセクショナルリティと差別構造—



【報告要旨】

2020年5月25日に発生したジョージ・フロイドさん暴行死事件や、2021年3月16日のアトランタ連続銃撃事件の背景には、黒人男性やアジア系女性に対するステレオタイプが深く絡んでいたと考えられている。こうした人種やジェンダーなどの社会カテゴリーのインターセクショナルリティによって創り出されるイメージは、人々の広告商品の購買意欲を掻き立ててきた。そうしたステレオタイプは、雇用、司法、ジェンダー間関係などあらゆる範囲に及び、人種差別・ジェンダー差別を構造的なものとしている。本報告は、アメリカ合衆国の雑誌広告を題材として、断片的ながらアメリカにおけるステレオタイプの過去と現在を考えてみたい。



日時：2022年7月19日（火）12時10分～13時30分

場所：オンライン（ZOOM）☆参加希望の方は、下記のURLにて事前登録をお願いします。登録者にはZoom情報が自動で配信されます。

https://kyoto-u-edu.zoom.us/meeting/register/tZEqc-GtpzwoG9Jn2Nxj9c_RAgRR_0ughNxH

主催：文学研究科アジア親密圏/公共圏教育研究センター（ARCIP）

問い合わせ先：平川佳世 hirakawa.kayo.6z@kyoto-u.ac.jp